

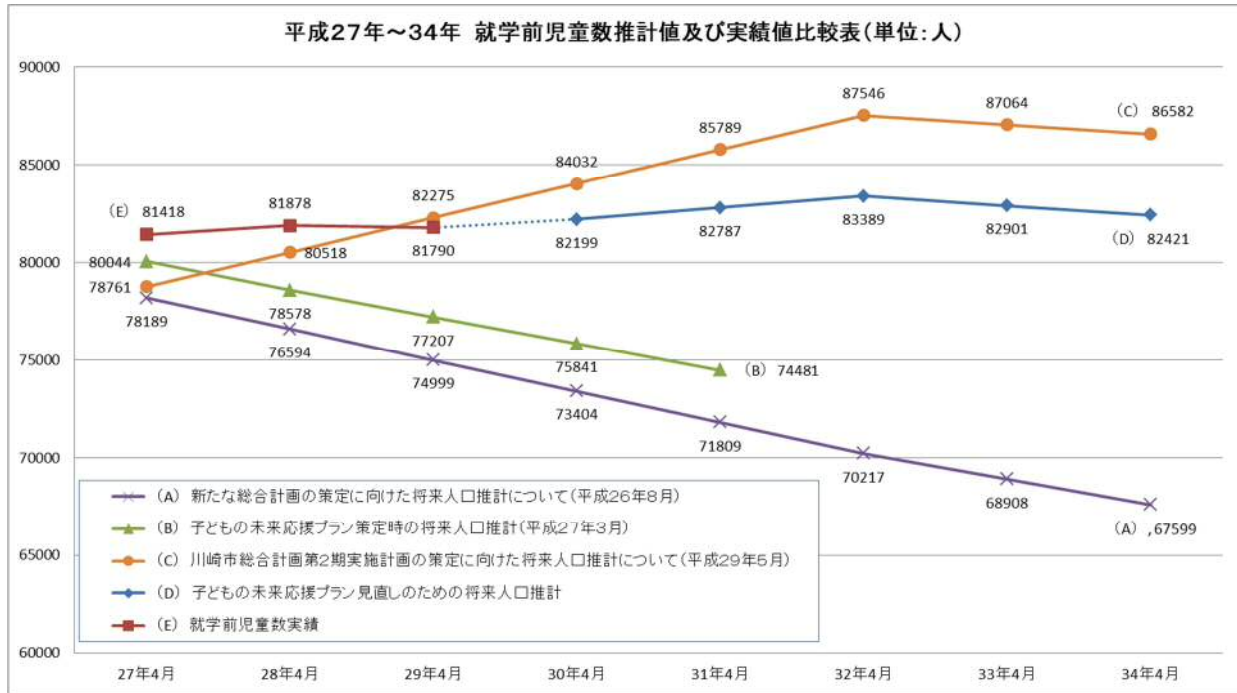
子どもの未来応援プランの児童人口推計値について

1. 概要

当初計画では、「新たな総合計画の策定に向けた将来人口推計について」（下表A）に基づき、0～5歳児の児童数を下表Bのとおり推計しました。推計から2年が経過し、当時の推計値と就学前児童数の実績との間に乖離が見られ（右表）、また、「川崎市総合計画第2期実施計画の策定に向けた将来人口推計について」（下表C）（以下「市将来人口推計」という）が出されたことから、新たに下表Dのとおり推計した。

当初計画推計値と実績の乖離（単位：人）

	H27	H28	H29
当初計画策定時推計	80,044	78,578	77,207
就学前児童数実績	81,418	81,878	81,790
差	1,374	3,300	4,583



就学前児童数実績値及び推計値の対前年増減数

(単位：人)

	実績値											推計値				
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
人数	76,735	77,817	79,061	80,012	80,380	80,547	80,909	80,963	81,418	81,878	81,790	82,199	82,787	83,389	82,901	82,421
対前年	—	1,082	1,244	951	368	167	362	54	455	460	-88	409	588	602	-488	-480

2. 推計値算出の考え方

① 平成29年4月1日の0～4歳児数実績に過去10年間の0～4歳児数実績の年平均増減率を乗じて、平成32年度（※）までの0～4歳児数を推計する。

※市将来人口推計の0～4歳児数が平成32年度にピークとなるため。

② 平成32年度の0～4歳児数推計値に、平成32年度から平成37年度の市将来人口推計の年平均増減率を乗じて、平成33年度以降の0～4歳児数を推計する。

③ 上記により推計した0～4歳児数と、過去10年間の0～5歳児数実績の年齢別構成比を用いて、各年齢の児童数を推計する。

④ 上記の作業を区ごとに実施し、合計したものを全市の就学前児童数推計値とする。

年齢別就学前児童数の実績値(H27～H29)及び推計値(H30～H34)

(単位：人)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
0歳	14,229	14,412	13,984	14,394	14,497	14,606	14,527	14,450
1歳	13,962	14,296	14,273	14,339	14,445	14,550	14,468	14,386
2歳	13,679	13,564	14,005	13,894	13,992	14,095	14,012	13,932
3歳	13,338	13,365	13,248	13,451	13,547	13,644	13,562	13,483
4歳	13,268	13,135	13,225	13,146	13,241	13,335	13,253	13,173
5歳	12,942	13,106	13,055	12,975	13,065	13,159	13,079	12,997
合計	81,418	81,878	81,790	82,199	82,787	83,389	82,901	82,421